

2009年8月26日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

「古代ローマ帝国の遺産」展への特別協賛について

当社は本年9月19日から来年8月22日にかけて全国4ヶ所で順次開催される「古代ローマ帝国の遺産 ～栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ～」展に、特別協賛することといたしました。当社が古代ローマ・イタリアの展覧会に協賛するのは、1990年のエトルリア展、2006年のポンペイの輝き展に続き、今回が3回目となります。

現代によみがえるローマ時代の文化や美術品を紹介することの意義や、貴金属・非鉄金属との関連が深い展覧会であること、自然に対する畏敬が当社グループの経営理念と整合することなどを考慮し、協賛することとしたものです。

開催場所、開催期間、展示品などはつぎの通りです。

1. 開催場所、期間

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1) 東京・国立西洋美術館 | 2009.9.19 - 12.13 |
| 2) 愛知・愛知県美術館 | 2010.1.6 - 3.22 |
| 3) 青森・青森県立美術館 | 2010.4.10 - 6.13 |
| 4) 北海道・北海道立近代美術館 | 2010.7.3 - 8.22 |

2. 展示品

ナポリ国立考古学博物館、ポンペイ考古学監督局、ローマ・カピトリニ博物館等からの宝飾品、工芸品、壁画、フレスコ画、彫刻、生活用品、模型など約120点

3. 参考

- 1) 展覧会パンフレット
添付の通り
- 2) 本展ホームページ・アドレス
<http://roma2009.jp/index.html>

(本件に関するお問合せ先)

広報 IR 部 大場浩正

TEL 03 - 3436 - 7705

以上



国立西洋美術館開館50周年記念事業

古代ローマ帝国の遺産

9/19[土]▶12/13[日] '09  国立西洋美術館 [東京・上野公園]
The National Museum of Western Art

開館時間=午前9時30分—午後5時30分(金曜日は午後8時まで) *入館は閉館の30分前まで
休館日=月曜日(ただし、9月21日、10月12日、11月23日は開館、10月13日[火]、11月24日[火]は休館)
主催=国立西洋美術館、東京新聞、NHK 後援=外務省、文化庁、イタリア大使館
特別協賛=住友金属鉱山 協賛=日本写真印刷、EPSON
協力=アリタリア-イタリア航空、日本貨物航空、JR東日本、西洋美術振興財団
学術協力=東京大学ソマ・ヴェスヴィアーナ発掘調査団 映像協力=凸版印刷

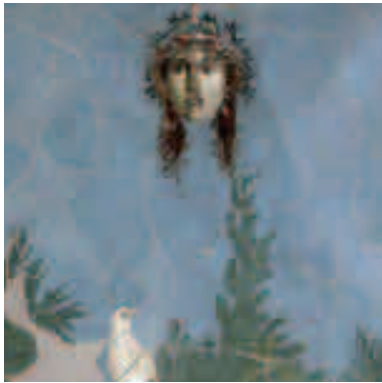
NHK教育テレビ50周年
ETV50
学ぶ冒険

東京新聞
125th
We♥TOKYO

遺産

DELL'IMPERO ROMANO
L'EREDITÀ

栄光の都と街
ローマのペイ
悲劇のポン



《双頭の蛇を象った指輪》
紀元前1世紀—紀元後1世紀
金、直径2.7cm
ポンペイ出土
ナポリ国立考古学博物館
© Luciano Pedicini/Archivio dell'Arte



《ディオニュソス像》(部分)
紀元後1世紀
大理石
高さ152cm
ソマ・ヴェスヴィアーナ出土
ノーラ考古学博物館
Photo © Norihiro Ueno

【黄金の腕輪の家】の居間の東壁に描かれた《庭園の風景》、第III様式（1世紀前半）、フレスコ、200×257cm
 ポンペイ出土、ボスコレアーレ・アンティクアリウム、画像データ提供:東京大学象形文化研究拠点 (UT-PICTURE)



【黄金の腕輪の家】の居間の南壁に描かれた《庭園の風景》、第III様式（1世紀前半）、フレスコ、200×357cm
 ポンペイ出土、ボスコレアーレ・アンティクアリウム、画像データ提供:東京大学象形文化研究拠点 (UT-PICTURE)



「VR（バーチャルリアリティ）映像作品の制作過程」
 VR上で「黄金の腕輪の家」に《庭園の風景》と
 《ニンフの噴水》を再配置（イメージ）
 画像データ提供:東京大学象形文化研究拠点
 (UT-PICTURE)
 製作・著作:東京新聞 凸版印刷
 監修:独立行政法人国立美術館 国立西洋美術館長 青柳正規



《アウグストゥス像》
 1世紀前半
 大理石、高さ215cm
 ヘルクラネウム出土
 ナポリ国立考古学博物館
 © Luciano Pedicini /
 Archivio dell'Arte



【観覧料】

	当日	前売	団体
一般	1,500	1,300	1,100
大学生	1,200	1,000	800
高校生	700	550	500

*中学生以下は無料 / *団体料金は20名以上
 *心身に障害のある方及び付添者1名は無料
 (入館の際に障害者手帳等をご提示ください)。
 *本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。

前売券好評発売中
 (9月18日まで、9月19日より当日券発売)

【チケット発売所】
 国立西洋美術館、公式ホームページ、JR東日本の主なみどりの窓口・びゅうプラザ(一部の駅を除く)、ローソンチケット(Lコード:36880)、チケットぴあ(Pコード:688-711)、ファミリーマート、サークルK・サンクス、セブンイレブン、イープラス、JTB・JTBトラベランド・JTB総合提携店ほか
 主要プレイガイド

【観覧会公式モバイルサイト】



【お問い合わせ】
 ハローダイヤル 03-5777-8600
 観覧会公式ホームページ <http://roma2009.jp>
 国立西洋美術館ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>

【交通案内】
 ■JR上野駅下車(公園口)から徒歩1分
 ■京成電鉄京成上野駅下車、徒歩7分
 ■東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車、徒歩8分
 *駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

同時開催
 ローマ 未来の原風景 by HASHI
 会期:2009年9月19日[土]~12月13日[日]
 会場:国立西洋美術館 新館2階 版画素描展示室
 ローマの古代遺跡や街角の光景の写真から、果てしない時間の旅へと誘うイメージを生み出す、Hashigraphyと命名された独自の手法による橋村泰臣氏の作品を紹介します。
 *「古代ローマ帝国の遺産」展観覧券または常設展観覧券でご覧いただけます。

人類の歴史にさんざんと輝く古代ローマ帝国。「史上最強の国家」と呼ばれるこの帝国は、初代皇帝アウグストゥスによって創建されました。

本展では、このアウグストゥスを足掛かりに、帝国の富の象徴である「栄光の都ローマ」と、ウェスウィウス(ヴェズヴィオ)火山の噴火で埋もれた「悲劇の街ポンペイ」に焦点をあてながら、古代ローマ帝国の魅力を余すところなくお伝えします。ポンペイの住宅を飾る壁画、ローマの偉人たちの彫像、そして豪華な宝飾品などの展示作品は、ナポリ国立考古学博物館をはじめとするイタリア珠玉のコレクションから選りすぐった名品です。これらの展示に加え、ウェスウィウス火山北麓の街ソマ・ヴェスヴィアーナで行われている発掘調査の最新の成果を紹介し、さらに最先端のコンピュータ・グラフィックス技術を駆使して、ポンペイの邸宅の遺構をリアルな映像で復元します。

二千年の時をやすやすと越えて現代に息づく古代ローマ。その貴重な遺産を、本展でご堪能下さい。

《ニンフの噴水》
 第III様式（1世紀前半）
 モザイク、200×240×177cm
 ポンペイ出土
 ボスコレアーレ・アンティクアリウム
 画像データ提供:東京大学象形文化研究拠点 (UT-PICTURE)
 【ニンフは山や川などの自然界に住まう精霊。「ニンフの噴水」は、ニンフが宿る洞窟のような自然の場所を模倣した建築物】

《カノポスにたどり着いたイオ》
 第III様式（1世紀前半）
 フレスコ、89×76 cm
 ポンペイ出土
 ナポリ国立考古学博物館
 © Luciano Pedicini / Archivio dell'Arte
 【ゼウスと交わったギリシアの都市アルゴスの女神官イオが、女神ヘラの嫉妬を買い、雌牛に変身させられた後、ナイル河口の都市カノポスにたどり着き、エジプトの女神イシスに迎え入れられる場面】

《ミネルヴァ》
 紀元前3世紀前半
 青銅
 高さ155cm
 アレツツォ出土
 フレンツェ国立考古学博物館
 MUSEO ARCHEOLOGICO NAZIONALE FIRENZE
 © Daniel Virtuoso, Centro Promozioni e Servizi Arezzo
 【ミネルヴァはギリシアの女神アテナと同一視されるローマの女神(ミネルヴァはラテン語名)。知性および種々の技術の守護神であり、戦いの女神でもある】

特別出品

